

那ハ當領主の先代見出しの図を記し
中々の内を記さるハ古来の神主に向
さる殿とせば地ハ古ハ懐古帛皮武衛家衛
と全戦一ハ所なり社殿より西有ハ石山
といハ所あり其地ハ本陣山也矢倉なり
いふあり武衛兄弟の陣所なり一ハ夜ハ築
立たり一と云傳へり庭ハ又堀ホ多^ク堀^キて
ありと北南の山有ハ川あり矢沢川とも
籠引川といふ川系ハ兄弟の石塔とて二基
ありむ左風よりて右代のおとハ^ハ（を本

陣山の上ハ流山ハ二軒といふ寺あり古
本像二基あり彫刻を粗巧ハ武衛家衛乃
二像なりといふ古人古敵の色を畫堂と云
兄弟の菩提よけ寺を建て古ハ畫堂とも
云々^ハや武田家古^ハ領主ハ山の頂ハ
懐古帛皮陣所の記あり南ハ（る）三十三
祀東西ハ七^ハ宮^ハ祀あり^ハ東の南ハ^ハ隍の祀
あり又飛騨石ハ跡まり^ハ東西ハ屏風を立
たり^ハと一ハ人常に祈^ハ所ハ^ハ又
当社神事^ハ二月九日二月朔日より七日と